

携帯電話事業者へのヒアリング事項について

① 御社における携帯電話ネットワークを用いた配信サービスの現状

3Gネットワークで行っている映像、音楽、データ等のストリーミング、ダウンロードサービスの現状及び今後の予定はどのようなものか。MBMSサービスの予定はあるか。

② 御社におけるマルチメディア放送を含めた配信サービスの事業戦略

- ・ 3Gネットワークで行っているサービスとの切り分け（通信によるコンテンツ配信と、マルチメディア放送によるコンテンツ配信の棲み分け）をどう考えているか。
- ・ マルチメディア放送とどのように関わっていく予定か（ビジネスモデル）。
- ・ マルチメディア放送の関わりの主眼は何か（対応受信機の導入による携帯電話利用者の拡大、携帯電話サービスとの連動による新しい収益モデルの実現、等）
- ・ 携帯電話事業者が提供する通信サービスと、連携・融合したゼロサムとならないマルチメディア放送として、どのようなものを期待しているか。

③ 次の事項に対する意見

- － 採用すべき方式は、1にすべきか、複数にすべきか。
 - ・ 複数方式を採用した場合、すべての放送の受信に対応しようとすると、端末の仕様が重くなる、端末の値段が上がる等のことが考えられるが、そのような点からみてどうか。
- － サービスエリアはどうあるべきか。
 - ・ 通信サービスはエリアの拡大を進めているが、それとの関係。
 - ・ 放送サービスが通信サービスと連携したものであるとすれば、放送エリアは通信可能エリアと同等以上であることが望ましいと思われるが、どうか。
- － 携帯電話事業者が検討している事業戦略からみて、どのような規律になることが望ましいか。
- － 周波数を有効利用している事業者（免許人）として、放送用周波数の有効利用の観点から、マルチメディア放送の在り方で留意すべき点はあるか。
- － その他パブコメをした事項について意見があれば、その意見。

④ 次の事項に対する考え方

- － 平成18年4月にワンセグサービスが開始され、携帯電話端末にワンセグ受信機能を搭載することが一般的となりつつあるが、これは携帯電話ビジネスにどのような影響を与えているか。
- － 広い普及率、広いカバー率、多機能といった特徴を有する携帯電話端末をマルチメディア放送の受信端末とすることで見いだせる新たな放送サービスの展望、収益モデルはどのようなものか。
- － 御社において想定している技術方式以外の技術方式により、御社が想定しているサービスは提供できると考えるか。
- － 資本関係のないマルチメディア放送事業者から、認証・課金のため、端末の仕様追加、業務委託、業務提携等を求められた場合、どのような考え方によりそれに対応することとなるか。
- － 仮に、複数の技術方式が採用された場合、どのような考え方により、対応する受信端末を扱うこととなるのか。資本関係のないマルチメディア放送事業者から、対応する受信端末を扱うよう求められた場合、どのような考え方によりそれに対応することとなるのか。

⑤ その他検討すべき論点についてのご意見